

心臓血管外科

《概要》

2007年度末で、3人のスタッフが異動となり、2008年度からは、新メンバーの4人体制となった。日常診療においては、循環器科、その他の部門との協同のもと、地域の心臓病診療の中核的な役割をになう『心臓センター』を運営し、外科治療部門を担当している。また麻酔科医の充足により緊急手術が可能となり、泉州救命センターとの連携もさらに深めることができた。

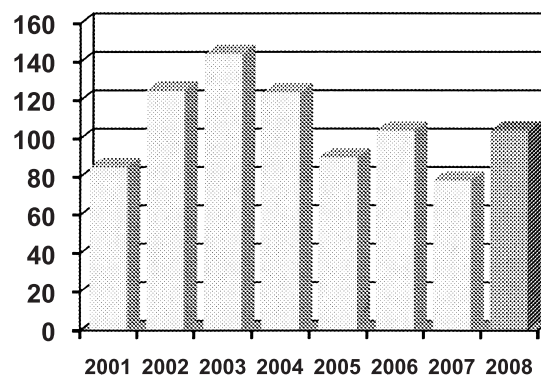
心臓手術は、後述する『低侵襲心臓手術』を含め病院により手術方法、手術成績に違いがある。満足のいく手術を受けていただくため、患者にとって最も重要なことは『病院選び』である。心臓血管外科は、これからの『患者が病院を選ぶ時代』に、安心して選べる診療科を目指す。日常の診療だけでなく地域連携の活動を通して、患者、家族、紹介医が満足できる質の高い医療と手術成績を目指したい。

《実績》 2008. 1. 1～2008. 12. 31

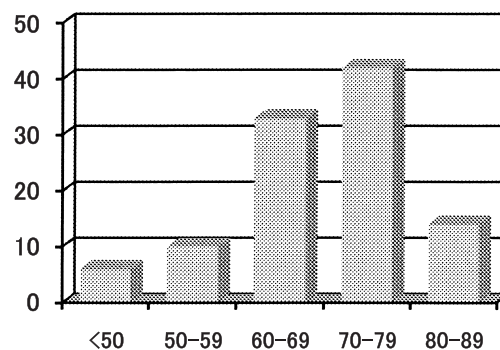
心臓血管外科では、冠動脈疾患・心臓弁膜症・成人先天性心疾患・大動脈瘤・末梢動脈閉塞・静脈瘤などに対する外科治療を行っている。冠動脈バイパス術、弁膜症手術、胸部大動脈手術を含む心臓手術数は、昨年より増加し105件であった。

	2006年	2007年	2008年	平均例数
総手術数	199例	185例	201例	195例
心臓手術数	104例	78例	105例	96例

心臓手術数の推移



心臓手術患者（105症例）の年齢分布（25～89歳、平均68.4歳）



低侵襲心臓手術 (MICS)

手術の負担が少なく回復が早いなど多くの利点がある手術方法を開始した。7 cm の皮膚切開で行う『低侵襲心臓手術』で、弁膜症や心房中隔欠損症などが対象である。2007 年度は7例に行った。特に高齢者への積極的な適応拡大を行い、このような取り組みは全国でも当院だけと思われる。この取り組みについての記事が掲載された。

読売新聞平成 20 年 7 月 17 日

心臓手術89歳も耐えた

切開7センチ、負担軽く

泉佐野市立泉佐野病院が、胸部の切開を最小限にして患者の負担を減らす心臓手術に取り組んでいる。従来より痛みが少なく、術後の回復を早める効果があり、5月には89歳の男性が手術を受け、8日後に退院した。体力の衰えた高齢者らの治療に道を開くものとして注目されそうだ。

泉佐野病院、5例実施

「低侵襲手術」と呼ばれ、担当する泉谷裕則・心臓血管外科部長によると、心臓の同手術は1990年代後半から米国で始まった。通常は胸の中心部を約25センチ切開するが、3分の1の約7センチに抑えるため傷跡

が小さく、痛みも残りにくい。大きく切開した方が医師は手術しやすいことから、国内の実施例は少ないという。

米国で経験を積んだ泉谷部長は2004年から動めた広島県の病院で39人に、今春に移った泉佐野病院では5人に実施している。

5月26日に手術を受けた阪南市の近江嘉平さん(89)は数年前から、たびたび胸が苦しくなり、呼吸できない症状に襲われた。心臓の

出口の大動脈弁が狭まり、心不全などを起こす「大動脈弁狭さく症」と診断されたが、高齢を理由に手術を拒んできた。しかし、4月に同病院に救急車で運ばれ、手術を受けることを決めたという。

大動脈弁を人工弁に換える手術は3時間半で終了。2日後に大部屋に移り、8日後に退院。今は趣味の草木いじりを楽しみ、体力が戻れば九州を旅行することになっている。「100歳まで生きる自信がわいてきた」と笑顔を見せ、「二女の範子さん(55)は「少し前まで、いつ倒れてもおかしくないと思っていたのに、顔色にも赤みが戻ってきた」と喜ぶ。

泉谷部長は「傷跡が小さく済むので美容上の利点もあり、女性にも喜ばれるはず」と話している。

89歳で手術を受け、元気に暮らす近江さん

泉谷部長
心臓血管外科部長



《業績》

(1) 原著、総説、著書 (2008.4~2009.3)

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	左上大静脈遺残と右上大静脈欠損を合併した洞機能不全症候群に対しペースメーカー植込み術を施行した 1 例	鎌田創吉 阪越信雄 大畑俊裕	胸部外科	61(7)	583-585	2008

(2) 学会研究会報告 (2008.4~2009.3)

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	Indications for tricuspid repair and ring selection	泉谷裕則	Edwards Valve Treatment Forum 2008	2008.4.5
2	本当は怖い心臓手術～心臓外科の現状と取り組み～	泉谷裕則	第18回りんくう循環器ネットワーク研究会	2008.5.17
3	Heart valve surgery for patients aged eighty years and more	Hironori Izutani	THE 1st KURE INTERNATIONAL MEDICAL FORUM(K-INT) IN 2008	2008.7.26
4	三尖弁形成術－適応と手術手技－	泉谷裕則	平成20年度阪神弁膜症シンポジウム	2008.10.4
5	弁膜症手術低侵襲化の試み-小切開手術、手術室抜管と早期退院-	泉谷裕則	第6回 Cardiac Translational Research Conference(CTC)	2008.12.20

(3) 学術講演 (2008.4~2009.3)

番号整理	演題	発表者	発表場所及び対象	年月日
1	ASO の診断と治療-本当は怖い全身病	泉谷裕則	第3回談論風発の会	2009.2.14